

花づな

hanazuna 2020.2

vol. 43

【花づな】

四季折々に咲き競う花々は、精いっぱい自分を自分らしく表現しているように見えます。明るく未来に向かって手をつなぎ合うことを「花づな」の名に託しています。

性の多様性を知ろう!

LGBT 基礎知識

多様な性についての理解を深め、だれもが自分らしく生きられるまちを目指して、みんなで考えてみましょう。



虹色はLGBTのシンボルカラーです。

男女共同参画社会の実現を目指して推進している「とよはしハーモニープラン2018～2022」では、生涯を通じた健康の保持と、安心できる生活環境の整備への取組として、「LGBT等性的少数者に対する理解促進と支援を基本的な施策として掲げています。また、「LGBT等(性的少数者)について知って知っている人の割合」※を令和4年度には80.0%(参考:平成28年度 41.5%)に引き上げることを目標としています。

※市民意識調査において「言葉も内容も知っていた」「言葉だけは知っていた」の計

できることからはじめよう

普段の何気ない会話の中で「ホモ」「レズ」「おかま」といった差別用語を使わない。

カミングアウトを受けたら

LGBTの人からカミングアウト(秘密にしていたセクシュアリティを打ち明けること)を受けたら、それは大きな信頼の証です。「ありがとう」を伝えましょう。また、カミングアウトの内容を本人の許可なしに広めること(アウティング)は絶対にしてはいけません。

- **LGBT相談窓口** ひとりで悩まず相談しましょう!あなたの相談内容の秘密は守られます。
- **よりそいホットライン** ☎0120-279-338 (専門ライン4番) 24時間OK
- **レインボー・ホットライン** ☎0120-51-9181 毎週月曜日 19:00～22:00

豊橋市男女共同参画センター「パルモ」が開館25年を迎えました!

これからもご利用ください

● パルモの主な施設利用料金

| 区分 | 午前 9:00～12:00 | 午後 13:00～17:00 | 夜間 18:00～21:00 | 全日 9:00～21:00 |
|------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 第1研修室(定員30人) | 1,540円 | 2,020円 | 1,540円 | 5,100円 |
| 会議室(定員25人) | 1,400円 | 1,880円 | 1,400円 | 4,680円 |
| 調理実習室(定員40人) | 3,960円 | 5,240円 | 3,960円 | 13,160円 |
| 和室1(30畳) | 1,100円 | 1,400円 | 1,100円 | 3,600円 |
| フィットネスルーム(定員40人) | 3,960円 | 5,240円 | 3,960円 | 13,160円 |

※男女共同参画の推進のために利用する場合は上記金額の約半額になります。※収益を目的として、企業活動に使用する場合は上記金額の3倍の額になります。※利用の際は、託児室(無料)も使うことができます。※ライフトとよはしの駐車場(無料)が利用できます。詳しくは、HP (<http://www.city.toyohashi.lg.jp/10880.htm>) をご覧ください。

- 「ビジネスマナー」「男性向け料理教室」等 多彩なセミナー
- 市役所でも返却OK!パルモ図書室

〒441-8075

【パルモ】 豊橋市神野5丁目3-22

問合せ先 ライフトとよはし内 ☎0532-33-2800



速読まめた著
『オレは絶対!アゲイン』
—トランスジェンダー—読者の記
はるか書房

「LGBT等に関する
書籍も充実。」

LGBTという言葉や、日常生活の中で耳にする機会が増えました。
LGBTを含むセクシュアル・マイノリティは、8%という調査もあります。※
性は、常識で考えられているよりも、もっと多様なのです。

※日本労働組合総連合会「LGBTに関する職場の意識調査」(2016年)



▶性はグラデーション

人間の性は男女だけだと思いませんか？人間の性のあり方は、もっと多様性があります。

性の4つの要素



L Lesbian
レスビアン

同性を好きになる女性



G Gay
ゲイ

同性を好きになる男性



B Bisexual
バイセクシュアル

両方の性を好きになる人



T Transgender
トランスジェンダー

身体の性と心の性が異なる人



LGBT当事者の体験談

こんなこと困っています

学校で 家庭で 職場で

- 男女で分けられている公共トイレは心理的に入りづらい。我慢すぎて膀胱炎になってしまふ。
- 学校や職場での、同性愛に関する冗談が悲しい。
- 外見と身分証明書の性別欄にギャップがあり、トランスジェンダーだとわかってしまうことがつらい。
- 「男らしさ」「女らしさ」を求められて苦しい。
- 「男」「女」どちらになることにも違和感がある。どちらも選ぶことができないが、相談しても理解されない。

市役所職員・市関係者向け研修会を開催しました

LGBT当事者や当事者の保護者の方を講師にお招きして、基礎知識や体験についてお話をお話をうかがいました。

受講後の感想

当事者が抱えている問題は、みんなの問題だと感じた。

何気なく使っている「女子力」「彼氏・彼女」という言葉が、誰かを傷つけているかもしれないと気づかされた。

“LGBT”以外にも、いろいろな性の人たちを知ることができた。

職員として業務の中で活かしていきたい。寄り添える人でありたい。

今後も全職員を対象に研修を継続してまいります